

情報公開用文書

(多機関共同研究用)

西暦 2021年12月18日作成 第1.0版

研究課題名	人間と人工知能の共創的な知を用いて動脈硬化進展阻止を目指す最適な予防戦略の開発
研究の対象	2005年から2021年の間に、一般財団法人日本健康増進財団の健診でCAVI検査をした方のうち、当時に18歳以上の方を対象とします。
研究の目的	動脈硬化は多因子疾患であると考えられるため、その病態解明には俯瞰統合的なアプローチが求められています。動脈硬化の個別的多様性を遺漏なく悉皆的・網羅的に認識するためには、人間の知識の枠組を超えるデータ駆動型研究を進めることが求められています。本研究では、フィジシャンデータサイエンティストと人工知能(AI)研究者の融合、すなわち人間と人工知能の共創的な知を用いて動脈硬化進展阻止を目指す最適な治療戦略の開発を目的としています。
研究の方法	本研究では、動脈硬化指標CAVIを含む健診データを用いて、「深層回路を線形回路に変換して星形グラフや説明文で説明する手法」などの最新のAI解析技術により、動脈硬化が個人ごとにどのように進みやすいのかを検討します。 いずれも通常の健診で得られた情報を用いますので、研究対象の方のご負担になることはありません。
研究期間	実施機関の長の許可日 ~ 西暦 2024年 12月18日
研究に用いる試料・情報の項目	【情報】診療録から以下の情報を収集します。 1) 背景情報：年齢、性別、身長、体重、腹囲、喫煙歴、飲酒歴、既往歴、治療歴、家族歴、都道府県、検査年月 2) バイタルサイン(血圧、脈拍数、) 3) 血液検査の結果： ・血液学的検査(白血球数、好中球数、リンパ球数) ・生化学的検査(総蛋白、血清アルブミン、総ビリルビン、AST、ALT、LDH、CRP、ALP、 γ -GTP、アミラーゼ、BUN、血清クレアチニン、尿酸、Na、K、Cl、Ca、P、空腹時血糖、HbA1c、LDLコレステロール、HDLコレステロール、中性脂肪) 4) 生理機能検査：CAVI検査、心電図検査、眼底検査 5) 尿検査：蛋白、糖、ウロビリノーゲン、ビリルビン、ケトン体、潜血 6) 治療内容：投与薬剤 7) 生活習慣病に対する問診

情報公開用文書

(多機関共同研究用)

試料・情報の授受	<p>本研究では、「既存情報の提供のみを行う機関」で収集された上記の情報は、研究代表機関である横浜市立大学附属病院の研究事務局、共同研究機関の横浜国立大学へ提供します。</p> <p>また、研究代表機関に提供された情報は、データクリーニングと統計解析のためにこころとからだの元氣プラザへ送付します。</p> <p>集積された情報の解析結果については、「共同研究機関」と共有します。</p> <p>情報は、各機関で USB 等の記録メディアにパスワードをかけた状態で保存し、研究代表機関、外部委託先であるこころとからだの元氣プラザへ追跡可能な方法で郵送します。また、集積された情報と検体の解析結果を共同研究機関と共有する際も同様の方法で提供します。</p> <p>情報の提供の記録として、本研究計画書を保管します。</p> <p>情報を提供する場合は提供した日から 3 年を経過した日まで、情報の提供を受ける場合は当該研究の終了について報告された日から 5 年を経過した日までの期間、適切に保管されるよう必要な監督を行います。</p> <p>紙媒体で保管している資料は、シュレッダーにかけて廃棄します。電子データは、(記録メディアの破壊等) 保存している端末から復元できない方法で消去します。</p>
個人情報の管理	<p>既存情報の提供のみを行う機関の責任者は、健診受診者に対して研究対象者識別コードを付与します。研究対象者識別コードには、研究対象者のカルテ ID や氏名等の研究対象者個人を特定することができる情報は用いませぬ。本研究では、研究対象者の同定及び照会のため、研究対象者識別コードから研究対象者を特定することができる対応表を作成しますが、データベース作成後は破棄します。</p> <p>本研究結果が公表される場合にも、研究対象者個人を特定できる情報を含まないこととします。</p>
試料・情報の管理について責任を有する者	<p>【研究代表機関に集積された情報の管理】</p> <p>研究代表者：横浜市立大学附属病院 次世代臨床研究センター 小林 雄祐</p> <p>【対応表の管理】</p> <p>既存情報の提供のみを行う機関の責任者(「研究組織」の欄をご覧ください。)</p> <p>【共有された情報の管理】</p> <p>共同研究機関の研究責任者</p>
利益相反	<p>利益相反とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭及び個人の関係を含むものです。</p> <p>本研究は、地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所(KISTEC)からの受託研究費を用いて行います。本研究で検討する情報を提供する日本健康増進財団と本研究の研究者の間に、開示すべき利益相反はありません。</p>

情報公開用文書

(多機関共同研究用)

研究組織 (利用する者の 範囲)	【研究代表機関と研究代表者】 横浜市立大学附属病院 次世代臨床研究センター (研究代表者) 小林 雄祐 【共同研究機関と研究責任者】 横浜国立大学 大学院情報環境研究院 (研究責任者) 長尾 智晴 【既存情報提供のみを行う機関と担当者】 一般財団法人 日本健康増進財団 (責任者) 藤代 健太郎
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先までお申出下さい。</p> <p>また、本研究で用いる情報について、研究代表機関へ提供された後は個人を特定することができないため、研究利用への拒否の連絡をいただいた際対応いたしかねますことをご了承ください。</p>	
研究全体に関する問合せ先： 〒236 - 0004 横浜市金沢区福浦 1-1-1 横浜金沢ハイテクセンター テクノコア 5階 横浜市立大学附属病院 次世代臨床研究センター (研究責任者・問い合わせ担当者) 小林 雄祐 電話番号：045 - 370 - 7933 FAX：045 - 370 - 7943	